



SOJITZ IR DAY 2018

航空産業・交通プロジェクト本部

2019年2月25日
双日株式会社
航空産業・交通プロジェクト本部長
山口 幸一



目次

◆ 本部概要

◆ 本部方針・成長戦略

◆ 事業紹介

① 中古機・パーツアウト事業

② ビジネスジェット事業

③ 交通インフラ事業

④ 空港インフラ事業

主要関係会社事業

- ・ 航空／宇宙関連機器事業（双日エアロスペース）
- ・ 船舶関連事業（双日マリンアンドエンジニアリング）

◆ 更なる成長へ向けて

将来情報に関するご注意

資料に記載されている業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。



本部概要

航空産業・交通プロジェクト本部

航空事業部

エアクラフトアセット
事業部

交通・空港インフラ
事業部

双日エアロスペース
(SOASCO)

双日マリンアンドエンジニ
アリング (SOMEK)

宇宙航空関連事業

国内民間航空機代理店事業での豊富な実績を起点とした、航空機ビジネスのバリューチェーン拡充による新たな収益基盤構築。航空・防衛産業関連機器の輸出入・販売

交通・空港インフラ関連事業

空港・鉄道を中心に交通インフラ整備や運営を進め、新興国をはじめとした国内外の地域活性化に貢献

船舶関連事業

船舶の売買、傭船および仲介、船用機器販売事業、自社船運航業務

関係会社（連子・持分合計52社）

欧・阿・中東・
ロシアNIS地域
会社数 3社

中国地域
会社数 2社

国内
会社数 26社

アジア・大洋州地域
会社数 2社

米州地域
会社数 19社

従業員数

本社：96名

海外：84名

SOASCO：162名

SOMEK：105名

2018年12月時点



本部方針・成長戦略

【本部方針】 前中計での成長投資を通じて形成された収益の芽に対し、事業基盤の拡大と収益の刈取りを計画通りに進め、より安定的な収益基盤の構築を目指す

【外部環境】

(機会) 世界的な航空機需要、交通・空港インフラ需要、東京五輪需要、省エネルギー船・LNG船などの需要

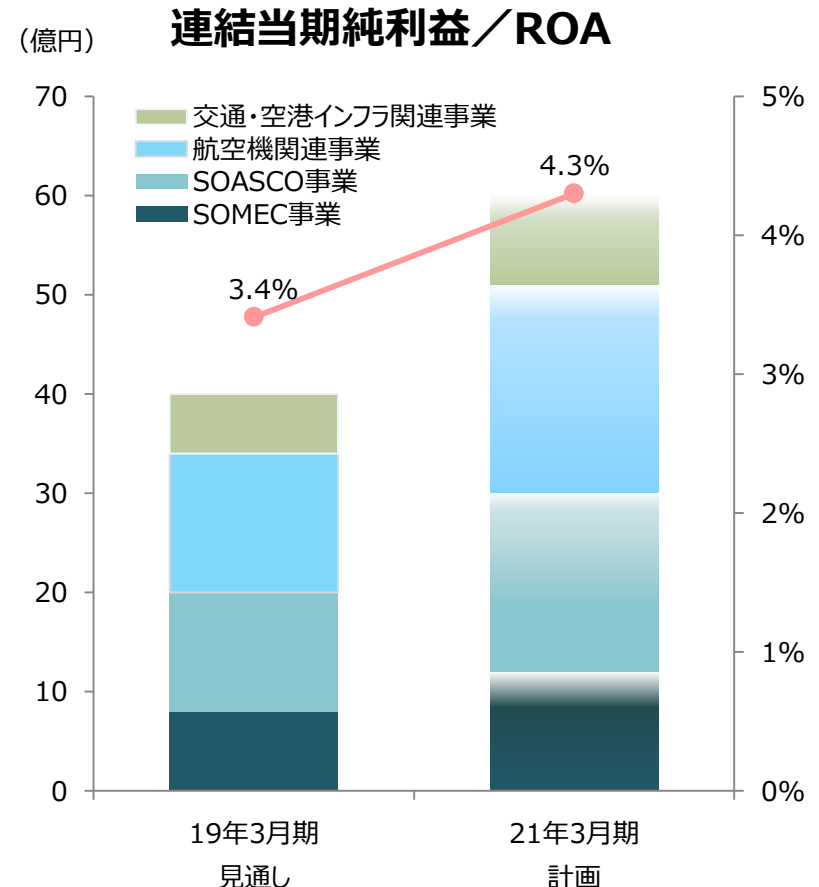
(リスク) 国内人口減少に伴う航空機需要の減少、新興国におけるカントリーリスク、国内造船産業の業績悪化に伴う取扱い量減

【成長戦略】

- ① 「航空機ビジネスのバリューチェーンの拡充による新たな収益基盤の構築」
- ② 「新たな商材、サービスの強化」
- ③ 「国内外の地域活性化に貢献する事業」

【成長ドライバーとなる事業】

- ① 中古機・パーツアウト事業、② ビジネスジェット事業、③ 交通インフラ整備事業



約1,200億円

※19/3末総資産見通し



事業紹介① 中古機・パーツアウト事業

中計2020
方針

売り買いの回転を維持しつつ、**アセット規模を一段引き上げる**ことで、利益率改善を伴った収益基盤の拡大を目指す

取組
意義

- 航空機ビジネス・バリューチェーンのExit部分をカバー
- 航空機事業の多様化を図る
- 退役機の再利用を促進し、省資源化に貢献



中計2020の施策

- 欧州・米州事業拡大
 - パートナー戦略の深堀・拡大
⇒ 各パートナー販路拡大と共に成長
 - 取組機種種の拡充
⇒ ナローボディ機をコア商材としつつ、リージョナル機等の調達
 - エンジントレーディングの取組み
- アジア展開
欧米事業パートナーとのアライアンスを活かしたアジア地域での取組拡大

累計
調達機数

2015年度
～中計初年度迄

28～30機

中計最終年度迄

45機程度【※】

欧州・米州拡大と共にアジアへの横展開

M&Aに依る航空機アフターマーケット深堀・拡大



【※】 部品販売完了機数を含む。



事業紹介② ビジネスジェット事業

中計2020
方針

PhenixJet事業、ANAHDとの協業等を通じた商品力強化による新規顧客獲得

PhenixJet 事業

機能獲得による一気通貫型のサービス提供が実現



ANA Business Jet



事業拡大
のための施策

- 運航管理機体数の倍増（現状9機運航）
- 首都圏空港における整備インフラ（格納庫や機体整備会社）の拡充や、ビジネスジェット専用ターミナルの設置運営を通じた運航サービスの拡充

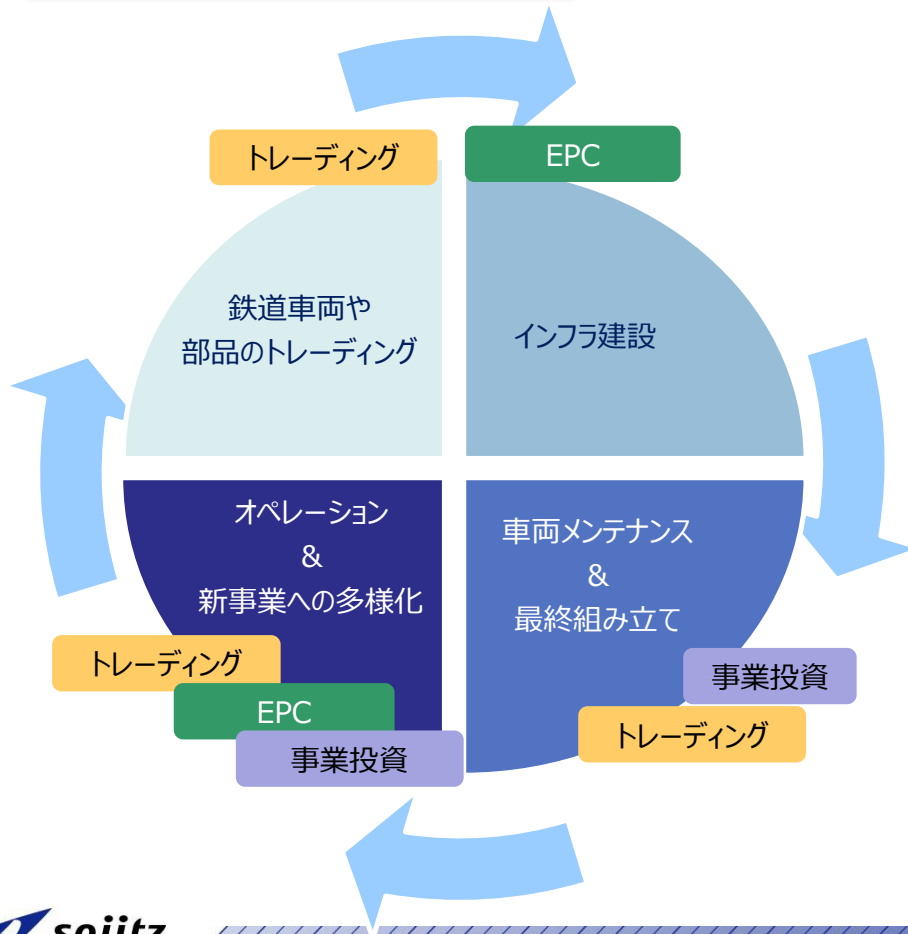


事業紹介③ 交通インフラ事業

中計2020
方針

市場成長が見込める**交通インフラ事業建設や維持運営**を軸に**事業領域を拡大し、規模感のある持続的な安定収益基盤の構築**を目指す

現状取組とその取組意義



EPC(*1)

インド貨物鉄道敷設



【案件概要】

デリーとムンバイとを結ぶ貨物専用鉄道の建設。総延長は約1500km。

【取組意義】

過去最大の円借款案件、かつ日印経済協力の目玉案件でもあり、受注案件の履行を徹底し、インドをはじめとする世界各国の鉄道インフラ整備事業への取組みを拡大する。

事業投資

カナダ鉄道車両MRO(*2)



【案件概要】

2015年11月にCad Railway (CadRI)へ出資参画。同業買収により拠点拡大を推進中。

【取組意義】

北米マクロ経済の堅調な成長を取り込み、収益の塊化を目指す。またMRO機能を軸とした事業領域や地域の幅出しを推進する。

(*1) EPC: Engineering, Procurement, Construction

(*2) MRO: Maintenance, Repair, Overhaul



事業紹介④ 空港インフラ事業

中計2020
方針

空港インフラ運営を軸に**事業領域と当社機能の拡大**によって、中長期的な視点での収益力強化を図る

現状取組みと今後の成長イメージ

空港運営事業



■ 航空系事業

滑走路やエプロンなど空港の
基本施設を管理・運営する事業
⇒着陸料や施設使用料など

■ 非航空系事業

空港ターミナルビルや駐車場などを
管理・運営する
⇒空港ターミナルビルのテナント
賃料駐車場の料金収入など

① 空港運営事業を通じた
機能の獲得・強化

② 国内外での取組拡大、
実績の積上げ

更なる成長に向けて

パラオ国際空港

日本空港ビルディング(株)とパラオ共和国政府と共に空港運営会社「パラオ・インターナショナル・エアポート株式会社」を2017年に設立。2019年春から共同運営を開始する。



下地島空港 (沖縄県)

(株)三菱地所・(株)國場組と共に、旅客ターミナル運営会社「下地島エアポートマネジメント株式会社」に参画。2019年3月30日開港予定。



ハバロフスク国際空港

日本空港ビルディング(株)等と共に、ロシアのハバロフスク国際空港の新旅客ターミナル建設・運営に参画する為の株主間協定書を締結(2018年12月)。2019年後半に供用開始を予定。



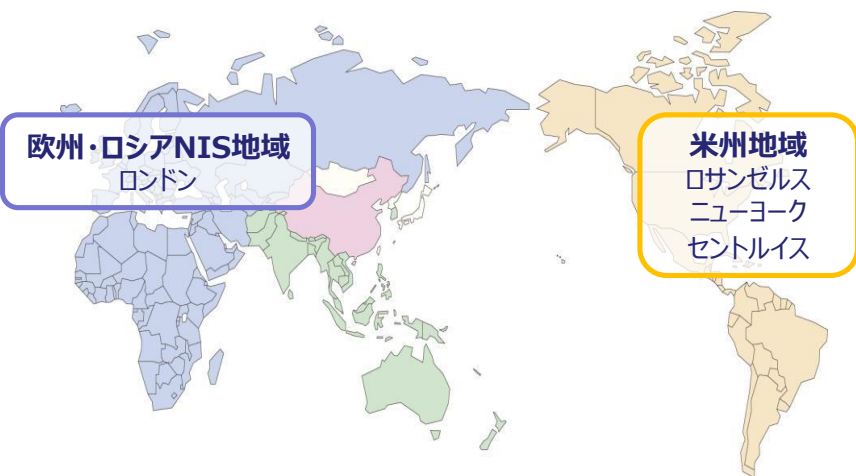


双日エアロスペース (SOASCO)

会社概要

◆双日エアロスペース(株)会社概要◆

- 商号：双日エアロスペース株式会社
- 資本金：14億1000万円
- 設立年月：1975年4月1日
- 社員数：162名（2018年12月31日現在）
- 所在地：東京都千代田区丸の内一丁目8番3号
名古屋支店/名古屋支店大阪営業所
- 事業内容：航空・防衛産業関連機器の輸出入・販売
- 主要海外拠点



	事業内容
<p style="text-align: center;">防衛 事業 本部</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米各国から防衛装備品（LCAC艇、F-15J、AH-64D等）の自衛隊への輸入・販売 ・護衛艦・潜水艦向けエンジンの調達、輸入 ・自衛隊の利用する特殊システムの販売
<p style="text-align: center;">民間 事業 本部</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーイング社、ルアグ社、ボンバルディア社などとの協業による旅客機用システム機器・部品・材料の販売とアフターサービス ・金属探知機や、対テロ車両進入バリケードなど、最先端のセキュリティー機器の販売



双日マリンアンドエンジニアリング (SOMEC) 会社概要

◆双日マリンアンドエンジニアリング(株)会社概要◆

- 商号：双日マリンアンドエンジニアリング株式会社
- 資本金：8億円
- 設立年月：1963年7月
- 社員数：105名（2018年12月31日現在）
- 所在地：〒105-0003 東京都港区西新橋2-3-1
マークライト虎ノ門3F
大阪支店、今治事務所、尾道事務所
- 事業内容：船舶、傭船取引及び仲介、
船舶関連機器・材料の輸出入・国内販売など
- 主要海外拠点



事業分野	事業内容
 船用機器・陸上機器事業	<ul style="list-style-type: none"> ・主機、補機、クランクシャフトなどの大型船舶用機器・材料の輸出入、国内販売 ・造船所向け設備の販売 ・産業機械、環境関連機器の販売
 新造船・傭船・中古船事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新造船の取引及び仲介 ・国内外の傭船・中古船の仲介 ・国内外荷主向けバラ積貨物の輸送手配
 船舶管理運行事業	<ul style="list-style-type: none"> ・双日グループの船舶保有・管理事業



更なる成長へ向けて

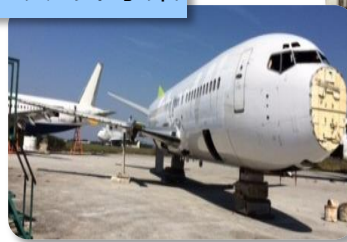
ヒト・モノの移動の活性化に伴い、新たな収益機会をとらえた価値創造への取り組み

航空

航空関連事業



パーツアウト事業



リテール事業



他本部との
シナジー

SOMEC



空港運営事業



リテール事業

ホテル事業

鉄道インフラ事業

ビジネスジェット事業

船舶

鉄道MRO



EPC事業



都市開発



交通



sojitz

New way, New value